

津幡町長選挙公報

津幡町選挙管理委員会



吉田かつや

津幡町の
豊かな未来へ、
人づくりを目指す。
町民の
皆様と
ともに

町民一人一人が主役のまちづくり

- 町民とともに考え、だれもが学び、活躍できる町政の推進
- 災害に強く、安全に生活できる安心社会の強化

津幡らしいふれあいのまちづくり

- すべての世代が、いつまでも元気で健康に暮らせる環境の実現
- 心が通う、地域で育む、みんなにやさしい福祉の充実

人々が集い、行き交う、元気なまちづくり

- 人口増を目指し、生活に便利な新たな住宅環境の整備
- 街なかの活性化や中小企業への支援による地域経済の創出

継承と発展

今を見つめ、
未来をつくる

■吉田克也かつや プロフィール

昭和32年12月1日生まれ、68歳。津幡町加賀爪在住。津幡小学校、津幡中学校、金沢泉丘高等学校、金沢大学法文学部卒業。昭和56年、宇ノ気町立金津小学校を皮切りに35年間、公立小中学校、教育委員会に勤務。その間、太白白小学校、津幡南中学校の校長を歴任。平成28年、津幡町教育長に就任。令和8年3月退職。



クラキ昭一

町民の皆様、私はこの度、わが町の輝かしい未来を取り戻すため、町長選挙への立候補を決意いたしました。

今、わが町は大きな岐路に立たされています。最大の課題は、「財政再建」です。財政が厳しければ、福祉も教育も、私たちが愛するこの町の暮らしを守り抜くことはできません。私は、これまでの慣習を打破し、攻めの姿勢で町のサイフを立て直すことを、至上命題として掲げます。その起死回生の一手として、私は「金沢大学医学部の誘致」を強力に推進します。これこそが、わが町の諸課題を一気に解決する「鍵」なのです。

第一に、医学部の誘致は、長年の懸案である「医師不足の解消」に直結します。高度な医療機関が身近にあることは、子供からお年寄りまで、すべての町民の命を守る揺るぎない安心感へとつながります。

第二に、「地域活性化」です。大学が来れば、学生や教職員という新しい風が吹き込みます。若い力が街にあふれ、新たな消費やビジネスが生まれ、関連産業の雇用も創出されます。これは単なる一時的な補助金頼みの活性化ではなく、持続可能な街づくりの第一歩なのです。

財政を立て直し、最高峰の医療環境を整え、活気ある街を次世代に引き継ぐ。口先だけの公約ではなく、実行力をもって、私はこの町の未来に責任を持ちます。

私と一緒に、この町を変えましょう。皆様の力強いご支援を、心よりお願い申し上げます。

令和8年4月5日執行

津幡町長選挙公報

②

津幡町選挙管理委員会

投票日は

4月5日(日)

投票時間は

午前7時から午後8時までです。

君の声

明日を変える

一票に



津幡町選挙管理委員会